北上地区消防組合消防本部火災調査規程の一部を改正する訓令を次のように定める。

平成22年4月30日

北上地区消防組合 消防長 菊 池

北上地区消防組合消防本部火災調査規程の一部を改正する訓令

北上地区消防組合消防本部火災調査規程(平成21年北上地区消防組合消防本部訓令第2号)の一部を次のように改正する。

(り災証明) 第33条 署長は、り災に関係のある者からり災証明書交付申請 | 第33条 署長又は分署長は、り災に関係のある者からり災証明 書(様式第25号)の提出があった場合は、火災の発生原因及 び損害額を除く当該火災の被害状況等の調査した事実に基づ き、り災証明書(様式第26号)を交付することができる。ま た、関係保険会社等の定める様式により願い出たものについ ては、これに準じて処理することができる。

改正前

2 前項の申請者は、り災物件の所有者、管理者、占有者及び 2 前項の申請者は、り災物件の所有者、管理者、占有者及び 担保権者並びにこれらの親族(二親等以内)、保険契約者及 びその他委任状等を持参したもので署長が適当と認めるもの とする。

(リ災証明)

書交付申請書(様式第25号)の提出があった場合は、火災の 発生原因及び損害額を除く当該火災の被害状況等の調査した 事実に基づき、り災証明書(様式第26号)を交付することが できる。また、関係保険会社等の定める様式により願い出た ものについては、これに準じて処理することができる。

改正後

担保権者並びにこれらの親族(二親等以内)、保険契約者及 びその他委任状等を持参したもので署長又は分署長が適当と 認めるものとする。

### 1	[略]	3 [略]
所		
推設・氏名	消防署長 様	消防署長 様
火災 調 査書           火災種別         「大災電号         大災種別         大災運輸	所 属	所 属
大災番号	階級・氏名	階級・氏名
大災番号	火 災 調 査 書	火 災 錮 査 書
出火日時 年月日( ) 時分ごろ		
火災種別         受知方法[两的機関例         ()           様 発 発         年月日時分         ()           (人間別別)         年月日時分         ()           成 水器         年月日時分         ()           版 水器         年月日時分         ()           財		
展 元 (		
株	爆 発 区 分 诵 報 者 側	爆 発 区 分诵報者側
大型   大型   大型   大型   大型   大型   大型   大型		党 知 年日口時公 党 知 年日口時公
開 始 団 年月日時分 鎮 火 年月日時分     世 次 編 所	(九电时刻)	(八电时列) (指令时列)
出火場所		
大		
大学生 所		
元 職業・氏名 電話番号等 年月日生(歳)	火 事業 所等	火 事業 所 等
電話番号等 年月日生(歳)		
電話回号号 年月日生(成)	職業・氏名  2 管 埋 者	
からの距離	中 月 口生 ( 戚 ) 3 所 有 有	电船面5号 年 月 日生 ( 威 ) 整証 3 別 有有
放水した(署)     台主として使(署)     出動延べ(署)       ポンプ台数(団)     台用した水利(団)     人員(団)       用途地域     防火地域     特別防災区域       市街地等     少量危険物等     火元の業態       火元の用途     防火対象物区分     車両船舶区分       出火 箇所     発火源     経過       インプ台数(団)     台目として使(署)     出動延べ(署)       月流地域     防火地域     特別防災区域       市街地等     少量危険物等     火元の銀       火元の用途     防火対象物区分     車両船舶区分       出火 箇所     発火源     経過     着火物       概要		
用途地域     防火地域     特別防災区域       市街地等     少量危険物等     火元の業態       火元の用途     防火対象物区分     車両船舶区分       出火箇所     発火源     経過     着火物       ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		
市街地等   少量危険物等   火元の業態   火元の業態   火元の用途   防火対象物区分   車両船舶区分   車両船舶区分   単両船舶区分   単面船舶区分   単面船   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船舶区分   単面船   単面船   単面船   単面船   単面船   単面船   単面船   単面船   単面船区分   単面船   単面船舶区分   単面船   単面船   単面船区分   単面船   単面船		
火元の用途         防火対象物区分         車両船舶区分           出火箇所 発火源 経 過 着火物           ( ) ( ) ( ) ( ) ( )           概要             原           因		
出火箇所 発 火 源 経 過 着 火 物       ( ) ( ) ( ) ( )       概要       原       因		
(     )     (     ) </td <td></td> <td></td>		
概 要		
原 因 因		
	概要	概要
因因		
B		
	原	原
等 等		因
	<del> </del>   <del> </del>	<del>                                    </del>

	(	経過年数及び	EXH)	<b>一间</b> (3 子)(4)	0 0	102901)	火災番	<del></del> -	
氏 名		用 途	:			経 過 年 数			年
所 在 地						構造·階数		造	階
火元等区分	□ 火元棟	Ц	延焼	棟	Ц	既存部分	Ц	增築部分	
建築面積			m²	延べ面	積				m²
焼損床面積			m²	焼損表	面積				m²
建築時単価	建築金額 <u>建築金額(</u> 延べ面積(	)	×	3.	3m²				円
り災時の	り災年月	年	月	建築時の		建築年月		年	F.
建築費指数	(	)		建築費指数 き場実額		(		)	
焼 損 程 度		内訳		き損害額 前の評価額	- ×	100 比率		%	
単 価	( )	× 建築印建築費	•	(	)	<b>-</b> 単	価		_
2式 建 築 時 単 価	( )	×	寺の	9 3	)	3.3 ㎡ 当 - 評 点	á り 数		
3式 再 建 築 費 単 価	( )	× 残存率	,	〈 補正係数	0.9	時 価 単	Ì	円未満切捨	•)
時 価 単 価	( )			. 3	)	一 建物損害		未満四捨五	<u>入</u> )
									_

様式第10号の	V I	木造建	物損	害算元	Ē 書	<b>‡</b> 1		
	( ;	経過年数及び建						1
							火災番号	
氏 名		用 途				経 過 年 数		年
所 在 地						階 数		階_
火元等区分	□ 火元棟	П	延焼棟		Ц	既存部分	□ 増改領	<u>築部分</u>
建築面積			m²	延べ面	積			m²
焼損床面積			m²	焼損表面	面積			m²
建築時単価	建築金額 <u>建築金額(</u> 延べ面積(	)	×	3.3	3 m²			円
り災時の	り災年月	年 ,	月建	築時の		建築年月	年	月
建築費指数	(	)		費指数		(		)
焼 損 程 度	内部	マー 焼き損 り災前の		(		円)	× 100比率	= %
1式 建 築 時 単 価	( )	り災時 <i>0</i> 建築費指 ・ 建築時6 建築費指	数 ( D (		)	. 再建築 . 単	費 価	円
2式 建 築 時 単 価	( )	× 建築時の建築時の	D (	3	)	3.3 ㎡ 当 評 点	á リ 数	点
3式 再建築費 単 価	( )	× 残存率	× i	補正係数	0.9	   時 価 単	(100円未満価	情切捨) 円
時 価 単 価	( )	焼損面和 ×	責 (	3	)	· 建物損害	(千円未満四	捨五入)
調査員		階級			氏名	í		

様式第10	0号の2			\#_ <del></del> 11							樣式第	10号の2									
	/ <b>/</b> マ トロ / エ ※/	TL 7 V Z + CC II				事算定得		生元中 空气 补加 人	<b>&gt;</b> ±π/æ \			(40)	5 <i>/</i>	<b>→</b> √7-35 00 n+				算定書		7.4.00 Mar. 0 10 (T. )	
	(絵週午数	(及び建築)	守年1四/)	小明の場	EXIA	以修・16 語を	した場合の木i	火災番				(経)	0年 数 及	ひ建築時	単1個かか	明の場合)	X IJ CX16	診・1診語をし	た場合の不定	5建築物の評価) 火災番号	
	名		用	途			経 過 年 数			年	氏	名			用	途			経 過 年 数		年
在	地		•				構造·階数		造	階	所 在	E 地							階 数		階
元等[	区分 _	」火元棟		<u> </u>	<b>正焼棟</b>	L	既存部分		増築部分	ì	火元等		<u> </u>	火元棟		延炽		Щ	既存部分	□ 増改築部	
築面	積				m²	延べ面積				m²	建築					n		[べ面積			m²
員床面	<b></b>				m²	焼損表面積				m²	焼損原					n 売き損害額		損表面積	円)		m²
			+#						±0. 1–¥6		焼 損	程度		<u>内部</u>		前の評価			円)	<u>x 100比率 =</u>	<u>%</u>
分	別根		構		造		別		評点数		部	分 別			構	造		另	IJ	評点数	<u>ጳ</u>
	礎										屋	根									
柱	壁										<u>基</u> 外	礎壁									
11												柱									
	作										造	作									
	壁										内	壁									
	井										<del></del> 天										
床												<del></del>									
	具										7#										
	カ工事										<u>廷</u> その化	具 2の工事									
計算		5倍の担合	١									計									
- 1式	,				_						2 計算2 - 15		損床面積	責の場合)							
	各構造部の 数の合	)評点 計	(	造部の評 数の合計	点 ×	建築設備の 割合	) 建	物3.3㎡ 評点数					造部の評	点 +	( 各構造	部の評点	× 建	築設備の 割合	) 建物	勿3.3㎡当たりの 評点数	
		+	(		×	0.15	)			点		×.	(VDII		( \$2.0			0.15	, _	计从数	点
2式	建物3.3㎡	当たり		り災時	の建築	費指数			₩/π		2 - 23		- 2144		`				′ ∟		<b>,</b> ,,,
	建物3.3㎡ の評点	数 ×	昭和	142年9月	期の木	造建築費指	<u>数</u>	再建築費	半1四			建物 : σ.	.3m当7 )評点数	EU ×	昭和4	リ炎時の 2年9月期	建築質1 の木造3	旨数 建築費指数	<del>\</del> ;	再建築費単価	
		×			893					円					(				)		円
3式		·			893						2 - 35	†		^ ^_		8	393				13
-	再建築費	単価 ×	残存率	≝ (	表)	× 補正(	系数 	時価単	.価				<b>築費単何</b>	西 ×	残存率	(	表) ×	補正係	数	時価単価	
		×				× 0.9		百円未満		円				×			×	0.9			円
				ł	克損面和	ŧ			,							j 1	- <del></del> 1 +		(ī	百円未満切捨)	
	時価単位	価 ×		^	3.3	т.		建物損害	<b>害額</b>			眼	価単価	×			員 <u>面積</u> 3.3		<del></del>	建物損害額	
		×			3.3					円				×	(		3.3		) [		円
					0.0		( <del>T</del>	円未満四	捨五入)		+m -+	-				•	J. J		(千)	円未満四捨五入)	
查員 所属			階級			氏:	<del>5</del>				調査員所属				階級			氏名	i		

様式第10号の	)3							様式第10号(	D3	淮 耐 ル	/ 建 物	損害算定	<b>±</b>		
		準 耐 火	建物损	害算定	書	火災番号				<del>エ</del> iiii ノ	XE 10	19 古 弁 た	Ħ	火災番号	
<b>毛</b> 名		用途	ŧ		経過年数		_	氏 名	i	用	途		経 過 年 数		年
· 一		<u> </u>			階 数	 β	i	所 在 地	!				構造・階数	造	階
火元等区分	□ 火元棟		延焼棟		既存部分	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	-	火元等区分	. ↓ 火元棟	L	延焼棟	i L	既存部分	□ 増改	築部分
建築面積			m²	延べ面積		n	2	建築面積	a dimet		m²	延べ面積			m²
<b>克損床面積</b>			m²	焼損表面積		n	2 I	焼損床面積	t dent		m²	焼損表面積	i		m²
建築時単価	建築金額 ( 		) 円 ) m²			P	]	建築時単価	建築金額(		) 円 ) ㎡	_			円
り災時の 建築費指数	り災年月	年		建築時の 建築費指数	建築年月	<b>年</b>	月	り災時の建築費指数	り災年月	É			建築年月	í	手 月
別表5)非オ	大造 家屋 経 年 試補正率基準表	当番号(	)	構造別区分		耐 用 ( )	年	(別表5) 非 減 ;	木 造 家 屋 経 年 該 補正率基準表	当番号(	)	構造別区 分		耐 用 (年 数	) 年
尭損程度	内	」 訳 —	焼き損	書額 ×			)	焼 損 程 度		訳 一一一	を損害額 前の評価額		円)	· × 100比率	= %
│ 計算式 ( │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	焼損床面積の場合。 ( )	り災時 <i>0</i> 建築費指	<u>〔数</u> の (	)	. 再建築 . 単	· 費 価	Ħ	1 計算式 1式 建 築 時 単 価	(	り災時 建築費	指数 持の	)	_ 再建築 - 単	香	F
2式		量年数 (	)	残存率	(小数)	点以下第三位四捨五人	)	2式 1 -	0.8 × 経過耐用年数 (	全年数 (	)	残存率	(小数	点以下第三位四	四捨五入)
3式 再建築費 単 価	(	× 残存率		時(	(100	円未満切捨)		3式 再建築費 単 価		× 残存率		時	(100	0円未満切捨)	円
4式 時価単価	( )	× 焼損床面	ā積 (	)	建物損害	(千円未満四捨五入	) 円	4式時価単価	( )	×  焼損床	面積(	)	建物損害	(千円未満屋	四捨五入) F
周査員 所属		階級		氏名				調査員							

144 P. 665			様式第10号σ	D 4					
様式第10号	04 耐火建物損害算定	書			耐火强	動り 損害 算定	書		
		火災番号					_	火災番号	
氏 名	用途	経過年数 年	氏 名		用 途		経 過 年 数		年
所 在 地		階 数 階	所 在 地				構造・階数	造	階_
<b>-</b>			火元等区分	□ 火元棟	Ц	延焼棟	<b>」</b> 既存部分		部分
火元等区分		既存部分	建築面積			m <sup>2</sup> 延べ面	漬		m²
建築面積	m <sup>2</sup> 延べ面利		焼損床 面積			m <sup>2</sup> 焼損表面			m²
焼損床面積	m <sup>d</sup> 焼損表面積	m <sup>2</sup>		建築金額(		) 円			
7+ 201 + 24 /平	建築金額 ( ) 円		建築時単価			<u> </u>			円
建築時単価	延べ面積 ( ) m <sup>2</sup>	円	り災時の	延べ面積 ( )災年月		) m <sup>2</sup> 月 建築時の	建築年月	年	月
	り災年月 年 月 建築時の	建築年月年月	建築費指数	(	·	) 建築費指数		+	)
建築費指数	人	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	(別表5) 非 7	大造家屋経年 お満正窓其進表	亥当番号 (	構造別		耐用(	)年
	京補正率基準表 該当番号 ( ) 区 分	年数 ( ) 年	源点	ā補正率基準表 <mark>『</mark> 【	<del>-  </del>	区分		年数	
H 10 40 +	焼き損害額		焼 損 程 度	内部		•		× 100比率 =	%
焼 損 程 度	内 訳	100 比率 %			り災前の	評価額 <u>(</u>	円)		
計算式(焼き 1式 建 築 時 単 価	り災時の(	_ 再建築費 _ 単 価	計算式(焼き) 1式 建 築 時 単 価		り災時の × <u>建築費指数</u> 建築時の 建築費指数	数 <sup>(</sup>	再建築 単	費 価	Ħ
2式 1 -	0.8     x     経過年数 (     )       耐用年数 (     )	(小数点以下第三位四捨五人)	2式 1 -		5年数(	<u>)</u> 残存率	(小数)	点以下第三位四拍	舍五入)
3式 再建築費 単 価	( ) × 残存率	(100円未満切捨) 価 単 価 円	3式 再建築費 単 価	( )	× 残存率	時	: 価 単 価	円未満切捨)円	l
調査員	階級    氏名		調査員所属		階級	氏名			

様式第23号(第27条関係) 様式第23号(第27条関係) 年 月 日 様 住所 住所 氏名 氏名 鑑定承諾書 鑑定承諾書 火災調査のため、次のものについて鑑定することを承諾します。なお、鑑 火災調査のため、次のものについて鑑定することを承諾します。なお、鑑 終了後は(返還・処分)してください。 終了後は(返還・処分)してください。 記 記

様式第24号(第31条関係)

年 月 日

北上地区消防組合管理者 北上地区消防組合副管理者 樣 北上地区消防組合消防長

消防署長

火 災 速 報

出	火	日	時	年	月	日(	)	時	分ごろ		災												
覚	知	時	刻	年	F	目(	)	時	分	覚	知方	法	別	消防通 朝	機量	関側 前側							
鎮	圧	時	刻	年	月	目(	)	時	分		火					Ŧ	月	日	(	,	)	時	分
出	火	場	所																				
		名 称 听 名								業態						圧途							
住		の区・氏	所													•							
				消防署																			
出	動	車	両	消防団																			
				合 計												台	(方	女水		台)	1	人	,
構	造	• 階	数							建	築正	面積				延	1	ī :	積				
				全 烷	Ē					林		野				車	į	İ	両				
/- 生	埍	程	夿	半 烤	ŧ					そ	の	他											
۸π	沢	1±	IΣ	部分類	ŧ					IJ	災 t	世帯				IJ	災	人	員				
				# ぼ	,					死		者	÷			負	l (f	易	者				
気	象	状	況	天気		風向			風速	r	m/s	7	記度			%	気	温					
出	火	原	因							出	火筐	所											
概			要																				
そ	ď	D	他																				
責	f	£	者							当	Ī	ī	長										

様式第24号(第31条関係)

年 月 日

北上地区消防組合管理者 北上地区消防組合副管理者 様 北上地区消防組合消防長

消防署長

火 災 速 報

	.1.	_			_	_		_					,,,		- Cul										
出	火	ㅂ	時		年	月	日(	)	時	分こ	-3	火	災	梩	別										
<b>一</b>	印時亥	[2	(電		年	月	日(	)	時	分		一	知ブ	<b>≒</b> ;±		消り	機	関	則						
7-/	NH 1 X		令		年	月	日(	)	時	分		7.	<b>Л</b> Н /	J 14		通 :	長	者(	則						
鎮	圧	時	刻		年	月	日(	)	時	分		鎮	火	時	刻			年	F	1	日	(	)	時	分
出	火	場	所																						
	物名業月											業態						- 1	<b>用</b>						
	元の																								
	業・																								
				消防	署																				
出	動	車	両	消防	団																				
				合	計													É	(	(放	水	É	<b>î</b> )	,	<u>ل</u>
構	造·	階	数									建	築『	面積	i			3	延	面	秱	責			
				全	焼							林		野	;			]	ŧ		回	5			
ır±	損	10	<b>#</b>	半	焼							そ	の	他											
がた	損	1±	区	部分	焼							נו	災 t	世帯					. ر	災人	Ę	į			
				ぼ	Ħ							死		者				1	<b>A</b>	傷	者	Ť			
気	象	状	況	天気		压	向			風	,速		m/s	ž	显度			%	-	気温					
出	火	原	因									出	火筐	ണ											
概			要									•			•										
そ	σ	)	他																						
責	<u>f</u>	F	者									当	Ī	ī	長										

リ災証明書       リ災日時     年月日時分ごろ       リ災場所       リ災物件所有者
12 災 場 所
り災物件所有者
り災物件
り災状況
交付番号 第 号
上記のとおり、り災したことを証明する。
年 月 日
北上地区消防組合 消防署長 印

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、平成22年5月1日から施行する。ただし、様式第1号から第10号の4までは5月1日以降に覚知した火災から適用する。